

吉野川市特定環境保全公共下水道施設耐水化計画策定業務

特記仕様書

1. 業務名

令和8年度 吉野川市特定環境保全公共下水道施設耐水化計画策定業務

2. 特記仕様書の適用範囲

この仕様書は、「吉野川市特定環境保全公共下水道施設耐水化計画策定業務一般仕様書第1章 1.1 及び 1.2」に定める特記仕様書とし、この仕様書に記載されていない事項は前記一般仕様書による。

3. 業務の背景と目的

近年、気候変動に伴う豪雨の頻発・激甚化により、河川氾濫等で下水道施設が浸水し機能停止する被害が全国各地で発生している。下水処理場やポンプ場は市民生活を支える重要なライフラインであり、災害時においても一定の下水道機能を継続して確保することが求められる。このため、リスクの高い施設を対象に対策浸水深や優先順位を明らかにし、ハード・ソフト両面から耐水化対策を計画的に推進することを目的として本計画を策定する。

本計画策定については、「令和3年度吉野川市特定環境保全公共下水道施設耐水化計画策定業務」の見直しを行うものである。

4. 耐水化施設の対象

(イ)名称	川田浄化センター
(ロ)位置	吉野川市山川町字翁喜台
(ハ)下水排除方式	分流式 ・ 合流式 ・ その他
(ニ)施設種別	汚水終末処理場
(ホ)処理方式	長時間エアレーション法（単槽式無酸素好気法）
(ヘ)処理能力	
計画処理能力	2,070 m ³ /日
既存処理能力	1,035 m ³ /日
(ト)供用開始年月	平成17年 4月
(チ)設計対象範囲	別表(1)のとおり

別表(1)設計対象範囲

基礎調査	○
対象外力の設定	○
対策浸水深の設定	○
対象施設の抽出	○
被害想定	○
対策手法の立案	○
実施計画の策定	○
報告書作成	○
耐水化計画書作成	○
照査	○
設計協議	○